

けふ民政縣下豫選に

比佐昌平氏公認さる

今明日中に立候補の届出

野崎派委員出席拒絶さる

民政黨本縣支部にては本日午前十時より縣下候補者の豫選會を開催したが石城方部委員は

金源に 相双兩方部

は福陽館に陣取り夫々氣勢を揚げ豫選に乗り込み結局石城よりは比佐昌平氏を公認すべく決定、相双よりは大体氏家清氏の呼聲盛んなるも釘本氏との折衝此稿締

切る迄には纏らず公認された比佐氏は今明日中に立候補の正式

届出を 爲す由因に

同豫選會には石城より野崎派の三氏が割込みを策せるも割當委員數を超過するとの故を以つて出席を拒絶され三氏は恨みをのんで引下つたといふ(本日正午記)

御眞影は

來月三日御到着

各戸は國旗を掲揚

既報、平第三小學校へ御下賜と決定した兩陛下の御眞影は二月三日午後三時五十分平驛着列車にて御到着と決定したので當日は各學

校、青年團、青年訓練所生消防組並に各名譽職等が驛頭に御歓迎するが當日各戸は國旗を掲揚する事になつた

米の手離し緩和に

低資を融通

農家は大助り

米價の高値につれ農家が米の出廻り期に於いて一時に持米の賣却するのを防止すべく此程政府の米穀低利資金を縣下に廿萬圓融通する旨發表され平穀物検査

も是れが貸付に就いて準備中であるが、右低利資金は個人或は十名以上の連帯者に對し粗米又は玄米を担保として最高一萬圓と限定貸付くるものにて目下の米價

高にて一般農家は出廻期後迄待ち切れずドシ／＼手離す結果は仲買人にも利益を占められる有様なので此の低利資金融通は農家經濟を緩和し大いに歓迎されると見られて居る

船舶職員試験

本縣の本年度に於ける船舶職員試験は三月下旬石城郡江名町に行はれ受験生約三十余名に及んで居るので江名町漁業組合では縣水産會と協力是が受験講習會を同町に開催すべく運動中である

農業保險法の

準備調査日割

けふから愈よ開始

甲乙兩班に分れて

昨報、農林省の農業保險法の基本調査に指定された石城郡下の三十六ヶ町村には近く農林省技手一行が來平するので郡農會並に平穀物検査所では協方甲乙兩班に分れて左の日定で郡下各町村の準備調査を行ふと

(廿八日)平、飯野、神谷、草野(廿九日)四倉、大浦、赤井、小川(卅日)平窪、好間、渡邊、(卅一日)夏井、大野

維種地整理

平稅務協議會善處

署長が歴代備みの種となつてゐる管内三坂、澤渡兩村地内の雜種財產地整理代金未拂ひ金九千三百圓の整理問題に關しては既報の如く容易に解決を得ず今日に及んだ處二十五日唯野署長は係員と實地に出張新任挨拶と同時に種々懇談する處あつたがこれを速急に整理するは困難で近く協議會を開き善後策を講ずる筈であるこの整理によつて解決の曙光を見らるであらう。

町村長支會

石城町村長支會では明廿九日午前十時より平町役場會議室に集合衆議院議員選舉に就いて打合せ會を行ふが翌卅日には同所にて支會總會を開催諸般の協議を行ふ筈

平町の打合

けふ役場で

尙ほ別項農業保險基本調査に關し平町役場農商係では平町も其指定に入つたに就き本日午前十時より左の諸氏を招集、平町に於ける水稻の風水旱害並に桑園の風水旱害、雹害等に就いての準備調査の打合せ會を行つた、鈴木良平(北目)鈴木

惣五郎(九品寺前)松崎秀吉(新川町)鯨岡藤七(鎌田)青木甚平(久保町)

往來

△川久保學務部長、縣議野崎滿藏の兩氏今朝平驛八時五十分列車にて福島へ

誠に便利な

商用品

利率御用利下
電話二八六番

金額の多少に不拘調製致します

平町南町

鶏卵商 鳥菊

看護婦急派の求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

一冊の代金で御希望通りな

五冊の雑誌が自由に讀める

川崎巡文庫

電話六三〇番

(申込次第規則書進呈)

節分豆蒔式次第

二月四日 縣社子銀會執行仕候

午後一時修抜 同一時半家内安全祈禱

同二時豆蒔執行

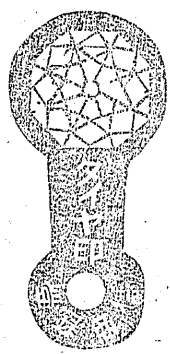
普通會費金二十錢

(御加入の古には、家内安全祈禱、御神札、福豆、御神酒品上)

特別會費(男)金五圓

(御祈禱札、福升、福豆、本膳(引物)付仕度料も含む)

主催 石城福和內會



毛糸

尺が長くて手ざわりよく洗濯しても色さめず何回編直しても大丈夫此糸こそ國産日本一

馬 三ノ下ヤ糸店

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器

關内藥局

電話四〇番

閑院宮殿下に奉謝

陸軍參謀總長に御就任を

平町にても社頭に感謝式

今回の異動で陸軍參謀總長に御就任あらせられた元帥閑院宮殿下に感謝の誠を披歴すべく来る卅日全國的な國民感謝大會を行ふ事となり平町に於ても卅日午後二時より縣社々頭に左の順序

△奉謝文奉讀(伏見町長)
△感謝電文の決議
△元帥閑院宮殿下萬歲三唱
△閉會の辭(青年團々長)
△遙拜
△國歌奉唱

泥棒の上前をはねる

高久村酒造店の雇人

忍び込んだ泥棒の落とし物をこつそり猫ばばを極め込む

石城郡高久村酒造業馬目專太郎方に二十五日夜忍び入り衣類現金等を窃取逃走したが、その際現金七十圓を落して行つたのを同家の雇人鈴木某が拾得そのまゝねこ婆をきめてゐたのを發覺し、二十七日平署に檢舉され取り調べを受けてゐる

氣狂ひ陽氣で

麥が伸び過ぎた

大凶作を豫想され
農試分場が研究中

氣狂ひ陽氣に石城地方の麥は寸伸び甚だしく中耕麥ふみが殆どその幼なき状態であるが、本年の麥作は大凶作を豫想され縣農事試験分場では降雪のない温氣における麥作の適性を研究中で麥ふみ中耕に代るべき化學的方法による麥多收穫を計畫してを

石城郡農會では廿八日總會を開き七年度豫算その他を付議するが、明年度は新規事業を見合せたが、富民協會主催の多收穫競争に本縣も参加し郡から二名もしくは三名参加するのでこの機會において各町村から一名づつを選び多收穫競争會を催すべく豫算百圓を計上した

火薬類隠匿

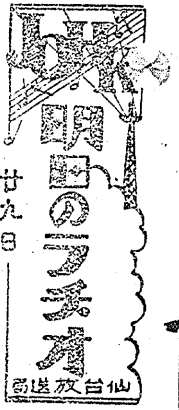
物騒な坑夫

石城郡磐崎村字上落長屋小野田炭礦坑夫伊達保保保町生れ菅野運吉(三)は本月十三、十八の兩日に互り坑内作業に使用する火薬五十匁電管十箇導火線六尺餘を自宅に持帰り隠匿して居た事を平署に探知され目下取調中である

折角の低賃も

借りれぬ惱み

石城産馬組合では數年度に事業資金として同郡小川村草野晴次郎氏より約四千圓程年利八分で借入をなした。後利息のみを支拂つて来たが農村の深刻な不況から各町村の割當負擔金は満足に納まらなため自然利息も滞り勝ちとなつて来たので、これが對策としてかねて縣當局に低利資金五千圓借入れの申請をなしてゐた所この程指令に接したので昨日午前十一時から團體事務所樓上に於て評議員會を開き借入れに關し協議をなした。低利資金は二ヶ年据置の十五ヶ年を賦なので年々の負擔は極めて輕いがたゞ借入金に對して個人保證十名を必要とするのでその點が問題となり約五時間協議したるもついに纏まらず午後四時半散會改めて協議することになつたが組合としては萬一保證人がない場合は折角の低利資金も指をくはへながらも手にすることが出



今夜も明日も北西の風晴れたり曇つたり

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間)
「童話とお話」宮城婦人會
付屬幼稚園
後七、三〇時事講座 小
山貞知
八、〇〇連續講談 大島
伯鶴
後八、三〇清元とはうた

立花家金八連
後九、〇〇映畫物語「大飛行船」仙石雷聲
後九、四〇時報 全國ニ
ユース 氣象通報、番組
豫告

明日の部
前九、一〇料理献立「牡蠣の山葵和へ」辰木ナカ

常磐炭の發送が減少

常磐各炭礦は需要最盛期に入つて例年なら活況を呈するが、本年は唯一の得意先である製糸界が極度の不振のため前年に比べると成績悪く常磐炭礦聯合會の發表によると元日より二十日までの山元發送高は(營業省用)十三萬二千トンで前年に比し一萬三千五百三十トンの大激減を示してゐる。

けふ産業博の

盛んな上棟式舉行

青沼協賛會長其他有志二百餘名參集

既報、昭和産業博覽會の上棟式は本日午後二時より第一會場にて執行

各官衙長、町會議員、區長、商工役員、青年團幹事、新聞記者

其他知名の有志二百餘名參集、集山部神宮の修禱終つて宴會場に祝賀會を開き會長た

伏見町長出福不在の爲め代理として酒井助役開會の辭を述べ續いて協賛會長青沼隆太郎氏を始め佐々木町議多田井青年團長の祝辭あつて祝宴に移り盛況を極めた

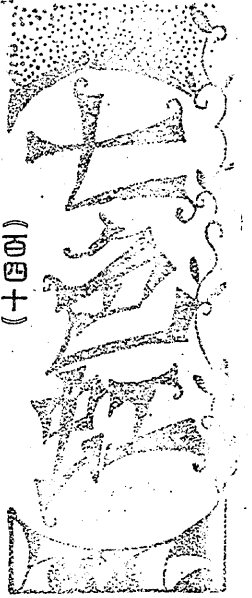
平職業紹介所報告

求人部
△雑夫 廿五才以下、尋卒月給五圓位(豊岡村某海産物店)
△雑夫 五十才以下、日給六十錢位(磐崎村某請負)
△看護婦見習 廿才前後、高卒、給料面談(小名濱町某醫院)
△外交員 卅才以下、高卒以上、給料面談(鹿匠町某)
△旅館女中、四十才以下、尋卒、給料面談(田町某旅館)
□求職部
△女中 十八才、稍讀書し得、給料面談(磐崎村某)
△給仕 十六才、商業一年修、給料面談(五丁目某)
△賣子 卅六才、高卒給料面談(福岡市下妻小路某)
△博覽會参入 廿一才、高卒、給料面談(北目某)

上田科醫院

平町 南町、電話二一九番

小説



【載轉禁】

渡邊默禪 作
布施平八郎 畫

お通夜 (4)

「その時は人生といふものに對して何の理解も體驗も持つてゐなかつたから、只便りになるものを失つたといふ絶望から來る一時の寂し味に過ぎなかつた。」

絶望はしながらも末一人の親が残つてゐるといふ強味があつた。

夜中ふつと目を覺した折なんか、お母さんの事を思ひ出して、懐しくつて、しく／＼と泣いたことなんか能く有つたものだ。

けれども翌朝になつて快活さうなお父さんの笑顔をみると昨夕はどうしてあんな心持になつたかと馬鹿馬鹿しく思つたくらいなものだつたが今度といふ今度こそ然うはいかない、いつまでも生きて自分の面倒を見てくれるやうにばかり思つてゐた只一つの便りを、不意に持つていかれたんだからなア。

僕は全く眞剣に考へさせられちやつたよ。

誰でも一度は打突らなければならぬことだのに、どうして今までのうちに、こんな大切な問題を嚴肅に考へて置かなかつたんだらう、思うと自分の暢氣さう、

つく／＼愛想がつちまうよ」

その後肺の底から突上げらるやうな大きな吐息が聞えた。

千代子は兄の懐舊談やら後悔やらを聞きつゝ、

「ぢや、兄さんもやつぱり



自分のほんとうの姿……惨な醜い、哀れな自分といふものがお分りになつてね」

「よく分つた。誰だつたか僕にさう言つたことがあるよ。」

人間の先はその九分まで背景の光である、背景をとりつけたら恐らく彼は只一

つの黒いかたまりに過ぎないであらうと。

その時は何の感銘もなしに聞流してゐたが、今になつて泌々と思ひ當るよ、女が美しく光つて見えるのもその際に男といふ背景があるからだ。政治家だつて皆然うだ。今まで十文字家の財産の信用といふものを後ろに背負つてゐたればこそ、僕は勝手な眞似をして居られたのだ。

荒み切つた獸のやうな放從生活をやつてゐても何とも言ふものもなかつた。それを僕は僕自身の力だ價値

つくり涙を噓んで

「兄さん、過去つたことは何を言つたつて無意味よ。お互に是れから先のことを考へて、お父さん遺言に……お父さんの臨終の際あゝ被仰つたのは、ほんとうに二人の身を思つて下さつたのよ。」

業證書を掴んで買つてくれと觸れて歩いたつて、此節柄事務員に使つてくれる者もありやしないよ。と思ふと親の有難さが今更身に泌みるやうだ。それ程有難い親を何故僕はほんとうに理解してゐなかつたんだらうあゝ罪……實際罪惡だ濟まないことをしたよ、千代さん噫ア」

内小兒科・花柳病科
藤沼醫院

平町五番
電話七〇七

入院應需

ラヂウ温灸器

專賣特許 代理治療部

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
肥り度い人の福音 熱くなく痒つかず無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

大塚の 學生靴!!!
耐久新製品
編上靴 六〇〇
半靴 五〇〇

大塚支店製靴部
電話七七番

美味! 芳醇!
宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

平新川町十九
木村病院

電話一六四番
産婦人科 院長 木村寅次郎
内臓外科 醫學士 松永憲一
整形外科

貸切は●●●

セダン揃ひで
貸切専門の
昭和タクシーへ
電話三四三